
経済 TOPICS

No. 241

(2025 年 3 月 19 日)

景気ウォッチング（要旨）

日本 … 個人消費や輸出が横這い圏内の動きのなか、生産が足許やや弱めの動きとなっているものの、設備投資が緩やかな増加傾向にあることから、全体としては緩やかな回復の動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、食料やエネルギー価格の上昇から、前年比プラス幅が拡大している。この間、国内金利の動向、米国新大統領の政策運営、海外の軍事紛争、中国経済の低迷など、先行き不透明感の強い状態が続いている。

米国 … 住宅販売は弱い状態が続いているものの、生産が横這い圏内で推移し、設備投資と個人消費が堅調に推移していることから、全体としては堅調に推移している。この間、雇用はタイトな状態が続いている。消費者物価は、サービス価格の上昇圧力が続いているため、前年比プラス幅は横這い圏内の動きとなっている。

（参考）物価動向

＜日本＞ 食料価格が上昇しているほか、エネルギー価格も政府補助の一時停止の影響から上昇したため、前年比プラス幅が拡大している。

＜米国＞ エネルギー、食料、商品価格が鎮静化するなか、サービス価格の粘着質な上昇圧力が続いているため、前年比プラス幅は、横這い圏内の動きとなっている。



京都フィナンシャルグループ

京都総研コンサルティング
